

マイナンバーが**保険証**と一体化したらどうなる？

勉強会・医療分野におけるマイナンバー制度利用構想



- 2016年**4月19日**（火曜日）18:30～20:30
- **渋谷区立勤労福祉会館** 2階 第一洋室
- 講師 ちねん さとし 知念 哲さん（神奈川県保険医協会 事務局主幹）

一体化したら、大変です。誰しも、マイナンバーカードがないと暮らせない、持ち歩かざるをえない。そんな社会ができあがります。

いま政府は、2020年オリンピックの年までに、経済活動する国民（定住外国人を含む）ほぼ全員にカードを持たせる準備を着々と進めています。

昨年末、厚労省が発表した『医療等分野における番号制度の活用等に関する研究会報告書』（12月10日）では、「マイナンバー制度のインフラと医療保険の既存のインフラをうまく連携させる」と言っています。でも「個人番号」そのものは使わないとも言っています。はて?? そのキーになるのが「公的個人認証制度」です（ポイントカードにも利用します）。

マイナンバーは、医療界で何をめざしているのか、学びます。

資料代 500円 定員 90人（定員を超える入場はできません）

主催 共通番号いらないネット
（共通番号・カードの廃止をめざす市民連絡会）

連絡先 Tel. 080-5052-0270（宮崎） <http://www.bango-iranai.net/>

